３号様式の１

排　出　量　削　減　計　画　書

	☑ 新規　　□ 変更
（ 宛　先 ）　京都府知事	令和　8年　10月　29日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市山科区川田清水焼団地町８番地１	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） Ｋｉｙｏ　ｔｏ－ｂｏ　株式会社 代表取締役 清水　大介 電話 075-632-8722

主たる業種	陶磁器製造販売						細分類番号	2	1	4	2	
事業者の区分	主たる業種を元に右記部門から該当するものを選択	☑ 産業部門 □ 業務部門 □ 運輸部門										
計　画　期　間	令和８年４月　～　令和１１年３月											
基　本　方　針	使用エネルギー量の見える化を行い、環境保全活動の意識を徹底し、環境負荷の低減を目指す。ひいては当社が陶磁器業界の発展を牽引していけるような企業を目指す。											
計画を推進するための体制	店舗ごとに推進責任者を設置し、本計画達成に向け進捗状況管理を徹底する。											
削減率												
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 （7）年度		第１年度 （8）年度		第２年度 （9）年度		第３年度 （10）年度		３年平均増減率 （基準年度比）		
	事業活動に伴う排出の量	18.7	トン	17.9	トン	17.8	トン	17.7	トン	-4.8	パーセント	
	グリーン電力証書や非化石証書等の購入によるもの削減量	0.0	トン	0.0	トン	0.0	トン	0.0	トン			
	評価の対象となる排出の量	18.7	トン	17.9	トン	17.8	トン	17.7	トン	-4.8	パーセント	
	年度ごとの増減率（基準年度比）			-4.3	%	-4.8	%	-5.3	%			
	目　標　の　根　拠	拠点減少nにつき、基準年度を令和7年度とし、目標削減率4.0%以上を目指す。										
具体的な取組及び措置の内容	１年目	社内でエネルギーロス削減に関する意識付けを行い、地道な節電を徹底した。										
	２年目	エネルギーロス削減、不要な電力およびガスの利用を避け、社内全体で取り組んだ。										
	３年目	社内全体で、電力およびガスの利用削減依取組んでいる。										
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	使い捨てのプラ容器を使わず、陶器を使ったエシカルマルシェを主催。・レストランで使わなくなった器を再循環される器循環プロジェクトの実施。・欠けた器を金継ぎで修復し、廃棄を減らす活動の実施。・製造中に出た傷物をアウトレット品として販売し、可能な限り廃棄をしない取り組みの実施。											
特　記　事　項												

注 １　該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
　 ２　「細分類番号」とは、統計法（平成19年法律第53号）第２条第９項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
　 ３　「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の３年度の事業活動に伴う排出の量の平均をいいます。